

令和6年度 第2回半田市環境審議会議事録

開催日時	令和6年9月24日（火）	14時00分～15時40分
開催場所	半田市リサイクルセンター 2階 大会議室	
会議次第	【議題】 (1) あいさつ (2) 議事 環境保全標語コンクールの優秀作品の選考について (3) 報告 サミット半田パワー施設見学の報告について (4) その他 懇談「半田市の環境の取組について」	
出席委員	千頭聡、山田尚登、小川彰子、榊原靖、安達典孝、石川毅、牧野純子、 神戸繁明、高原英樹、川島祥子、大山仁志 ※敬称略	
欠席者	森下久子、戸松功、飼沼亜紀子 ※敬称略	
事務局	環境課長 太田 環境担当主査 山田、環境担当 堤、片山、墓地整備担当副主幹 森下 ごみ減量担当主査 井戸	
その他	なし	
次 第	議事概要	
1. あいさつ	—市民経済部長あいさつ— —千頭会長あいさつ— =====	
2. 議事	=====	
環境保全標語 コンクールの 優秀作品の選 考について	(事務局) それではここからの議事進行につきましては会長にお願いします。 (会長) 次第に従って進めさせていただきます。 議事(1)「環境保全標語コンクールの優秀作品の選考について」につい て、事務局より説明をお願いします。 (事務局) 環境保全標語コンクールの選考についてご説明させていただきます。 資料①—1をご覧ください。 実施内容として、6月1日から3か月間、インターネットでの応募を原 則として、募集をいたしました。 応募者数については、総数37件で、各部門の内訳は記載のとおりです。 応募作品の中から、各部門、最優秀賞1点、優秀賞2点を選考してい だきます。 続きまして、資料①—2をご覧ください。 選考方法につきましては、各委員が作品に点数を付けていただき、点数 の高い順に最優秀賞、優秀賞といたします。	

選考は、各部門5作品を選出いただき、2作品に2点、3作品に1点をつけてください。5作品で2点が2作品、1点が3作品を各部門でつけてください。また、中学生の部は応募者数が1点ですので2点、1点、0点のいずれかを記載いただき、平均点が1.5以上でしたら最優秀賞、それ以下でしたら、優秀賞とします。平均点が1以下の場合は、残念ながら該当なしとします。

選考のポイントとして
募集テーマ「自分ができる環境にいいこと」に即し、表現性や独創性に優れているかという視点で選考をお願いします。

説明は以上です。

(会長)

標語の選考に関しまして、ご質問はありませんか。
それでは、選考に移ります。

【審査・採点及び集計】

(事務局)

集計結果が出ましたのでご報告します。

集計結果

一般部門

最優秀賞は、	14番	・・・	得点は13点
優秀賞は、	3番	・・・	得点は11点
	4番	・・・	得点は10点

親子部門

最優秀賞は、	16番	・・・	得点は16点
優秀賞は、	5番	・・・	得点は16点(委員の決選投票にて決定)
	3番	・・・	得点は14点

小学生部門

最優秀賞は、	13番	・・・	得点は12点
優秀賞は、	9番	・・・	得点は11点
	8番	・・・	得点は8点

中学生部門

平均点が1.16点であり、1.5点以下でありましたので、優秀賞としたいと思います。

今回応募いただいた作品は、12月の地球温暖化防止月間に市民交流センターへ掲示し、啓発を図りたいと考えています。今後、多くの作品が集まれば、カルタを作成するなど、二次利用を検討していきたいと思えます。

ご協力ありがとうございました。

(神戸委員)

今年は標語だが、去年はポスターを募集した。中学生からの応募が減っ

たように思うが、事務局としてどのように考えているか。

(事務局)

両者それぞれに良い部分があると考えています。
環境について考える時間を持ってもらうというところを見れば、双方同じだと考えています。今年度は標語の募集を行いました。ポスターと比べれば取り組む時間自体は短いかもしれませんが。昨年度、ポスターの応募が少なかった点については、夏休みの宿題からポスターが外れたことが大きな理由と考えています。

(千頭会長)

一般の方も応募できるようにするなどしたことで、昨年度に比べて全体の応募総数は増えている。

(安達委員)

小学校に標語コンクールを実施していることがわかるポスターなどを掲示してもらえないか。

(千頭会長)

今年度の優秀作品を取り入れたポスターを作成し、掲示してもらうと良いかもしれません。

(榊原委員)

優秀作品の中に「エコバック」という言葉を用いている作品がある。正しくは「エコバッグ」だと思うが、応募者のこだわりである可能性もあり、取り扱いをどうするか。

(事務局)

応募者へ意向を確認します。

(千頭会長)

次に議題(2)「サミット半田パワー施設見学の報告について」事務局から説明をお願いします。

=====

3. 報告

=====

サミット半田
パワー施設見
学の報告につ
いて

=====

=====

(事務局)

議題(2)「サミット半田パワー施設見学の報告について」説明をさせていただきます。

資料②をご覧ください。

サミット半田パワー施設見学について、8月5日に項番3に記載の10名で見学をさせていただきました。

内容としまして、まず、事業概要のご説明を山田委員にさせていただきました。その後、プラントを見学し、プラント見学後は、少し離れたヤードへ移動し、木質チップなどを保管している場所の見学をさせていただきました。

項番4には、当日の様子を掲載しています。
当日は、施設について現場の方から丁寧に説明いただき、プラントの見学は、木質チップの受入棟から順にボイラー棟の屋上まで進みました。
③④木質チップ受入棟では、狭い空間に大型のダンプで、木質チップを搬入していたところが印象的でありました。
⑧ボイラー棟屋上は、半田市でおそらく一番高い建物です。屋上まではエレベーターで上がりましたが、高いところが苦手な人には少しつらい場所だったかもしれません。
⑨⑩ヤードでは、木質チップ等が搬入された後、1～2か月保管をしてから、施設へ運搬をされています。

なかなか写真では伝わりづらいところですが、壮大な建物でありました。

項番5としまして、半田商工会議所主催の「はんだオープンファクトリー」へ参加されます。市民向けの公開はなかなか機会がなかったということで、新たに取組まれるとのことでありました。

説明は以上です。

(千頭会長)

今回、参加された方の感想を伺いたいと思いますが、まずは受け入れていただいたサミット半田パワーの山田委員、いかがでしょうか。

(山田委員)

ここ数年は市民の方に見学していただく機会がなかったのですが、今回本委員の皆さんに来ていただきましたし、また、半田商工会議所からお声がけいただいて、10月の半田オープンファクトリーに参加することとしました。3ロット、各回最大15名で実施することを予定しています。

今回のイベントで多くの方に参加いただけるようであれば、興味・関心度は高いのかなと考えています。発電所を見学する機会というのは多くないと思いますので、ぜひお知り合いにも声をかけていただいて、参加していただけるとありがたいです。

(小川委員)

見学会に参加させていただきましたが、冒頭のVTRがあったことで、これから見学する施設のイメージを膨らませることができました。施設を見学する中で感心する部分も多くありましたが、高い場所が苦手なので、あの高さで施設のスケルトン感が怖かったです。

(山田委員)

施設自体は華美なものとはしていませんが、安全面には配慮した設計にはなっています。また、夜は非常にきれいです。

(榊原委員)

今回は参加できませんでしたが、昨年別のバイオマス発電施設を見学しました。この施設では100%輸入の木材チップを使用していますか。

(山田委員)

変動はしますが、PKS 含め約 85%を輸入しています。残りの 15%は国産材で、枝葉を含めて間伐材などをチップ化して使用しています。輸送コストもかかりますので、愛知、岐阜、長野から集材しています。

(榊原委員)

今後、国内材を増やしていく考えはありますか。

(山田委員)

林業の活性化も考えれば国産材を増やしたいという思いもありますが、量を確保できないという課題があります。輸入材については円安の影響もあり、事業を取り巻くコスト環境が厳しくなっています。ドルで買って円で売るという仕組みのため、為替の影響をかなり受けてしまいます。

(安達委員)

最も興味を持ったのは、粉塵を出さないために車両に工夫をされている点です。チップ・粉塵の飛散防止に対し、課題感を持たれていることがよくわかりました。

ただ、当初の計画時点で、チップヤードから直線距離がそこまで無いのであれば、トラックで運ぶのではなく、港から直接搬入するというのを考えられると良かったのではと思いました。

こうした施設は環境配慮という面で今後も推進していくべき施設だと思いますので、市がもっと PR するなど考えてはどうかと思います。

(石川委員)

何よりも木質チップのヤードが思ったよりも臭いが抑えられており驚きました。

(神戸委員)

この施設へは国から補助金が出ている施設でしょうか。

(山田委員)

FIT 制度での売電を行っている施設です。補助金はいただいておりません。

(神戸委員)

FIT が切れるのはいつごろでしょうか。FIT が切れたら施設はどうするのでしょうか。

(山田委員)

運転から 20 年が FIT の期間ですので、残り 13 年ほどです。プラントの寿命が 30 年程と言われており、FIT 期間終了後もプラントは使用できるものと考えています。どのような形で使うことができるか、方針は決まっていない状況です。継続したいと考えていますが、プラントの状態も確認した上で検討していくことになると思います。

(神戸委員)

一般の電力と比較した場合のコストはいかがでしょうか。

(山田委員)

FIT 制度での買取価格は電力の市場価格より高く設定されています。

(川島委員)

一般の方が出入りできる場所ではないので、こういった場所が見学できるというのはとても魅力的だと思いました。

(環境課長)

今回、施設やチップヤードを見学させていただいたことで、これまで木材チップを運ぶトラックを意識していなかったことを実感しました。毎日のように飛散防止の措置がとられたトラックを見かけるので、これまで気づいていないだけでした。

(千頭会長)

説明のためのスタッフや、見学時の配慮など、コストがかかることもあると思いますが、今回の見学会で受け入れていただくにあたって課題などはありましたか。

(山田委員)

これまで関係者の視察は受け入れていましたので、対応に特に変わりはありません。当日、皆様からいただいた質問も専門的なものが多く、その面でもこれまでと変わらない印象です。

(牧野委員)

思っていた以上に安全措置が取られており、大変勉強になりました。ヤシ殻は熱量が高く、燃料として優秀であること、国産の廃材は効率よく入手することが難しいことなど、簡単に解決できない課題を抱えておられることがよくわかりました。

(山田委員)

アブラヤシの殻は、元々は副産物であり、価値がゼロであったものです。10年前はそうだったんですが、バイオマス発電が一般的になってきたこともあり、有価物になりつつあります。

(牧野委員)

日本で採れる作物などで、代用品として使用できそうなものはありますか。

(山田委員)

もみ殻やサトウキビ、下水汚泥などが挙げられますが、収集運搬の面や、量の確保など課題は多いです。

(千頭会長)

竹はいかがでしょうか。熱量が低いですか。

<p>===== 4. その他 ===== 懇談「半田市の環境の取組について」</p>	<p>(山田委員) 竹はカリウムが多く、ボイラーに悪影響であるため、投入することを禁じています。</p> <p>(千頭会長) ありがとうございました。</p> <p>(千頭会長) 議題（２）については以上で終了します。</p> <p>===== ===== 次に議題（３）「半田市の環境の取組」について 前回からの引き続きのテーマでも、新しいテーマでも構いません。かしこまらずにフリートークで進めていきたいと思ひます。</p> <p>(事務局) 脱炭素チャレンジの応募状況について報告させていただきます。 目標件数 500 件に対し、現在 32 件です、1 ヶ月間チャレンジいただいからの報告をお願いしていますので、時間がかかってしまうことはあると思ひますが、件数が伸び悩んでいます。PR をお手伝いいただくと助かります。</p> <p>(千頭会長) どのように進めていくと、みなさんが参加してくれるでしょうか。ご意見のある方はいらっしゃいますか。</p> <p>(小川委員) ホームページを見ると、どうしても難しく感じてしまう。中身に入る前に諦めてしまう方もいるのでは。 ただ、行政の情報発信として、正確に伝える必要があることも理解できるので難しいところだと思ひます。</p> <p>(大山委員) 参加したら QUO カードがもらえるという仕組みなので、もっと参加者がいても良いと思ひたのですが、PR に課題を感じています。</p> <p>(安達委員) 20 ポイント集めなければならないという部分に課題感があるのではないのでしょうか。中身を見てもらえば、20 ポイント集めることはそれほど難しいことではないのですが、もしかしたら中身をじっくり見る前に難しいと感じてしまっているのかもしれない。</p> <p>(千頭会長) PR の方法について、本日出された意見も参考にしてください。それでは、他にお話のある方はいらっしゃいますか。</p> <p>(事務局)</p>
---	--

今年度の産業まつりでリユースのブースを設ける計画をしています。もったいないバザールに代わる催しとして開催したいと考えていますが、販売形式とするかは未定です。先着順とするのか、抽選にするのかについても検討中です。

(牧野委員)

もったいないバザールのような形で実施できるのであればとても良い取組だと思います。11月の開催であれば、有志のパートナーシップ委員も参加することで、一緒になって実施したという達成感も生まれて良いのではないのでしょうか。出品する商品の手入れや、販売方法、抽選の有無など、そうした議論に私達も参加させていただけると嬉しいです。

(安達委員)

無料にしてしまうと、商品ではなく「ゴミ」として認識されるのではと危惧しています。とりあえず手に入れて、必要なければ捨てるということが起きてしまうのではないのでしょうか。また、以前のもったいないバザールでも長蛇の列ができていましたので、先着順としてしまうと揉め事が起きる原因になると思います。

(事務局)

家具など大きな商品は写真を掲示したり、インターネットで申込・抽選を実施することを考えています。

(榊原委員)

これまでの取組では、自転車は入札、他は値段をつけて実施していました。

(安達委員)

この催しに合わせてフードロスの取組を実施してみても良いのではないのでしょうか。

(千頭会長)

フードロスの取組は事前に行き先が決まっていれば、実施してみても良いと思います。子ども食堂などが産業まつりに参加するような情報があれば、一緒に取り組んでみてはいかがでしょうか。

本件に関して、委員へ個別に市から連絡していただくということでもよろしいのでしょうか。牧野委員、安達委員以外にもご協力いただける委員さんがいらっしゃれば、市からお声がけいただきたい。

(安達委員)

テントは一張ですか。

(事務局)

一張分のスペースですので、広くはありません。

(千頭会長)

他自治体で古着を無料で持って行っていただくというイベントを開催し

ていましたが、一人で多くの古着を持っていかれる方もおり、転売を危惧していました。

今の学生は古着を積極的に着ている印象があります。所謂ヴィンテージのように、古いことに価値を感じている学生も多いです。うまくPRができれば、多くの若者に興味を持ってもらえるのではないのでしょうか。

(安達委員)

売上を環境保全基金に積み立てるのであれば、そのことを示してあげることで、環境保全に役立つのなら協力しようという意識のある方が買ってくれたりするかもしれませんね。

(千頭会長)

それでは、他にお話のある方はいらっしゃいますか。

(牧野委員)

前回の会議でも話題に出させていただいた「環境大学」についてです。子どもも大人も一緒に学べるような仕組みを考えていきたいです。まずは見学したい施設の候補を出し、それについて意見をもらえると良いと思います。

アイシンのビオトープや、豊田ケミカルなどは見学を受け入れていると思いますので、そうした施設も候補に挙げながら、まずは勉強会からスタートし、どのように進めていくか議論を深めたいと考えています。

(事務局)

豊田ケミカルの見学会は、区長会にもお声がけいただいています。

(千頭会長)

リサイクルに関係する工場をいくつか回り、繋がりを理解できるような仕組みを作れたりはしないのでしょうか。

他の自治体ですが、瓶が生まれてからリサイクルされるまでのツアーを実施しました。小さな工場の見学も含まれていましたが、大変興味深い内容でした。

他の視点で、農家さんとの繋がりを持っていたりしますか。

(大山委員)

6次産業化のプロジェクトリーダーを中心に、様々な農家が育っていると感じます。ただ、個別の取組であるため、他の業種、事業と関わって進めていくということに課題を感じているところです。農家が語り合う場もありますので、そういった場に入って行って、意見交換をすることを検討してみてもいいのではないでしょうか。

(安達委員)

牛ふんやもみ殻など、農家によっては無料で提供してくれるところがあります。家庭菜園で使用していますが、他にも取りに来ている方がいらっしゃるのでは、相当量を皆さん持ち帰っていると思います。こうした取組もPRすることで広まるのではないのでしょうか。

(千頭会長)

板山の竹炭作りは今も続いていますか。

(事務局)
続いています。

(牧野委員)
竹林の整備に関しては、竹を切らなければいけないことを知らない人も多いので、管理に困っている竹林の見学もしたいと考えています。

(安達委員)
知多自然観察会では、ヤギを飼って、除草のための貸出をしています。こうした貸出を行っていることも、PRすると活用が広がるのではないのでしょうか。

(高原委員)
ポイントは2つあると思っています。子どもたちへの教育と大人向けの見学会などです。
今回、標語を集めるにしても、教育委員会に協力依頼をしたり、学校の行事として行ってもらうなどを実施していかなければ、なかなか難しいのではないのでしょうか。一般市民向けに見学会を開催したとしても、興味のある人しか参加しないと思うので、大人たちへの教育については、やはり子どもの頃から環境学習を教育に組み込んで、環境保護が大切だということを刷り込んでいく必要があるのではと思います。

(千頭会長)
大変重要なお意見ありがとうございます。

それでは予定の時間も迫っていますので、このあたりで今回は終了とさせていただきます。
事務局から連絡事項はありますか。

(事務局)
2点お願いします。
1点目、本日の会議録については、作成次第お送りしますので、確認をお願いします。
2点目、次回の会議は12月19日を予定しています。年末のお忙しい時期かと思いますが、よろしくお願いします。

(環境課長)
それでは、以上で令和6年度第2回パートナーシップ会議を終了します。

(終了)